

表題 やらねばならぬ！地域を巻き込んだ、初心者だからこそ、AI・データサイエンス教育

取組の様子

特色ある取組

大学 × IT企業

黒斑病はどれだ？
AIアプリを2週間で開発

「やらねばならぬ！」と学生に思わせるには？

- ・ 講義 ~ 身近なAI、AIのしくみを学ぶ、じっくり浸みこむ
- ・ 演習 ~ AIを使う、アプリを作る、プログラミングの素養

もっと深く、自分ごととして「のめり込む」には？
「全学的にリテラシー」を広めるには？

情報系ではない「研究室を活用」する

- ・ 情報系ではない大学院学生に、AIアプリを作成させる
- ・ 2週間後には発表会。修士論文の課題と関連させる
- ・ 研究室の先輩から後輩へ、AIを「本気で」受け継ぐ

データを持っている「地域企業を活用」する

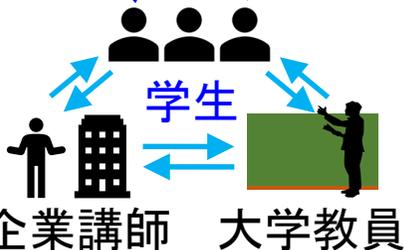
- ・ 情報技術がなくても、レアなデータは持っている
- ・ 共同研究としてデータ処理。修士論文のテーマにする。

受講生の感想

- ・ 本講義を受講して、**難しいプログラミングを使うことなくAIの技術を簡単に活用**できるサービスがあることを知った。さらに現在のAIの最前線の事例を学ぶことで**適用範囲の広さ**を感じる事ができた。**今後の研究活動において役立つ**のではないかと感じている。
- ・ 今回のICT実務演習を通して、**実際の適用事例から最先端技術の現状を把握**することができた。
- ・ 本実習で**プログラミングに知識がなくてもICT利用が可能**ということを知れたことが一番の収穫だったのではないかと思う。

大学院授業科目「ICT実務演習」

専門は情報系以外
アプリの開発経験なし



期待できる成果・評価 など

- ・ 短期間でAIの勘所を習得できる。
- ・ 学生を「やらねばならぬ！」気にさせる。
- ・ AIやデータサイエンスと縁遠い地域企業を味方に。

- ~ 探究心に火をつける
- ~ 研究を加速する
- ~ 共同研究の間口を広げる

参考URL

長岡技術科学大学HP「ICT実務演習の最終報告会を実施しました」

<https://www.nagaokaut.ac.jp/j/wise/report/2024-2-9>

